

奈良県における取組

1. 音楽の振興と次世代育成

(1) 県内民間音楽団体との連携

奈良県内にオーケストラのための株式会社として、初めて設立された**Japan National Orchestra株式会社 (JNO)**と連携協定を締結し、県内でアウトリーチ活動等の連携事業を展開。

代表取締役を務める**世界的ピアニストの反田恭平氏**を県の文化政策顧問に迎え、今後一層文化活動の振興に取り組んでいく。

(2) 奈良県立ジュニアオーケストラの活動

奈良県知事の荒井正吾を団長として、2011年6月12日に結成した、**他に類を見ない県立のジュニアオーケストラ**である。

小学生から高校生まで幅広い世代の楽団員が、奈良県文化会館内で練習に励み、著名な演奏家と共演する貴重な経験を重ね、**世界的音楽家を目指す**。

(3) 「ムジークフェストなら」などのイベント開催

「音楽で、奈良を元気に」という思いから「ムジークフェストなら」を2012年にスタートし、社寺や音楽ホール、街中のカフェなど、様々な場所でコンサートを開催し、地域振興を図っている。

また、障がいのあるなしや、世代を問わず共に楽しみ、絆を深める「みんなでのしむ大芸術祭」も発展的に開催している。

2. 課題：人材育成拠点（奈良県文化会館）の整備

推進拠点である奈良県文化会館は、複合文化施設として整備され、室内楽の演奏に適した小規模ホールがない。また、ジュニアオーケストラなどの練習場が不足している。

そのため、既存施設を活用し、機能向上する改修を実施することにより、**音楽系を軸とした舞台芸術の殿堂として再生**する。

これまでの取組をより発展させ、良質な音楽に触れる機会を増やし、**音楽家を志す子供たちの育成を促進**することにより、県の文化レベルの引き上げ、地方創生のための人材育成、集客力強化を目指す。

	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8
文化会館整備 スケジュール	設計					
			工事			



文化会館整備イメージ



音楽小ホールイメージ



奈良県とJNOの連携協定締結式 (R4. 2. 28)

国にお願いすること

世界で活躍する音楽家育成拠点整備（既存施設の機能強化）
に**地方創生拠点整備交付金の交付**をお願いしたい。

文化会館の整備のテーマは、「音にこだわるホール」である。

音楽小ホールを新設するほか**音楽練習場を設置**するなど、音楽に関する機能を強化する計画。

今後、世界で活躍する音楽家を育成するためには、安定的かつ良質な練習環境が不可欠であり、その環境整備が急務である。

また、**世界的に活躍する反田恭平氏率いるJNOとの連携**による事業展開は、豊かな感性・創造性を育む子供の体験活動を推進する事例として、「文化芸術の力」で地方創生の推進を図る他府県の模範となる先駆的事例である。

そこで、**既存施設の機能強化による拠点整備**に対し、**地方創生拠点整備交付金の交付**をお願いしたい。